



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (27年6月号)

平成27年6月2日

種まき、花植えの季節到来で多くの方々からお持ち寄り・お手植え・手入れなどのご厚志をいただき、この上ない励ましとなっております。さて、6月の予定です。

6月28日(日) 午前9時～11時

高知駅南口の とさでん交通高知駅前電停脇花壇「みんなの庭」、こうち旅広場3志士像前プランター、同駐車場西縁植込みなどの草取り・清掃を行います。

同日 午後3時～4時 中央公園北側の帯屋町アーケード街で、葛岡さんによるギター・ライブとPRチラシ配りを行います。(当日2時半までよさこい踊りあり)

なお、7月は28日(日)、8月は2日(日、但しライブはお休み)に活動の予定です。

トピックス

○5月24日(日)

午前9時～11時 高知駅南口の「とさでん交通」高知駅前電停脇花壇「みんなの庭」、同駐車場西縁植込みなどの花植え・草取り・清掃を行いました(6人参加)。有志の方々がひまわり、鶏頭、コスモスの種や、チュリオタ、ピーターグリーン、ウルトラゴールドなどの苗を持ち寄って下さいました。



(写真は作業風景。ビニール袋の中身は雑草です)

同日 午後3時～4時

中央公園北側の帯屋町アーケード街で、葛岡さんによるギター・ライブとPRチラシ配りを行いました。「木を植えよう」の歌に足をとめてくださる方々も多く、つい張り切ってしまいました。(写真)



○5月29日(金)

「みんなの庭」に敷いた灌水ホースが一部破損したので、部分的に取り替えました。

☆駅南口の とさでん引込線脇花壇「みんなの庭」と駐車場西縁の植栽などにまだスペースがございますので、苗のご提供・植え付けのお申し出を歓迎いたします(連絡先は下記)。

☆篤志家から花苗の提供やご寄付などが参っております。ご厚志に心より御礼申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅」ナカタマサン代表中田昌志 名義 普通 0709695

水と緑が共生するまちづくり（原宿表参道）



夏といえばよさこい祭。左の写真は、高知の多くのよさこいチームが毎年参加を楽しみにしている「原宿スーパーよさこい」（明治神宮奉納 原宿表参道元氣祭スーパーよさこい）会場の航空写真です。（「商店街振興組合原宿表参道櫛（けやき）会」会報「原宿表参道2013」より採録）。右上の高層ビル群は新宿副都心。

写真中央の神宮の森は緑の貯蔵所、下部にまっすぐ伸びる表参道はそこから流れ出た緑の川。将来、これに明治神宮から流れ出る水と表参道の地下湧水を利用した「水のネットワーク」を加えて「水と緑のネットワーク」を完成させたい。それが「歩行者中心のまちづくり」を目指す原宿表参道櫛会理事長松井誠一さんの夢です（上掲会報より）。

2020年に開かれる東京オリンピック・パラリンピックは、東京湾岸の「ベイゾーン」と神宮一帯の「ヘリテッジゾーン」が中心会場となる予定です。なぜ「ヘリテッジ」（遺産）なのか。それは、先の東京オリンピックが神宮外苑を主会場としたという経緯もさることながら、日本が世界に開かれて目覚ましい発展を遂げた時代を統べられた明治天皇・皇后（昭憲皇太后）両陛下を祀るメモリアル明治神宮が、2020年をもって鎮座100周年を迎えるという歴史の巡り合わせを見逃せません。加えて、神宮本殿を包む広大な森は、当時百年以上の将来を見据えて設計され、全国各地から寄せられた約10万本の若木が、馳せ参じた延べ11万人の青年たちの手で植えられた人工林であり、「多くの国民がまごころを尽くした、いわば手作りの鎮守の杜」という物語があつての民族遺産なのです（明治神宮国際神道文化研究所今泉宜子主任研究員）。年間参拝・観光客総数が一千万人、外国人のほうが多い日が珍しくないのも頷けます。

高知を緑のガーデンシティにすることでまちの魅力を増そう、手始めに「森の中の高知駅」を作ろうという私どもの活動は、神宮とは比べ物にならないささやかなものですし、実現に百年かかるかもしれません。しかし、敗戦で疲弊し国土も削られた19世紀の小国デンマークで、たった1人の工兵士官が縦の木を植え始め、やがて肥沃な国土が蘇ったという故事（内村鑑三著「後世への最大遺物」より）もあり、ただただ愚直に続けてまいりたいと思います。川の流れのように。

子、川^{せんじょう}上に在りて曰く、「逝^ゆく者は斯くの如きか 昼夜^おを舍かず」と。（論語）